

広がる未来へ

●進むエコ社会③

ソーラーライフにこころをこぼす

田原市では、日射量が全国平均を約2割上回る日照条件を生かして、2010年度の設備容量3300kWを目標に、市民や事業者、公共施設などへの太陽光発電設備の設置を推進しています。

特に住宅用太陽光発電施設は、市内持家世帯の約4・6%が設置し、国内でもトップレベルの設置率です。

■太陽光発電の特徴

エネルギー源が太陽光のため、どれだけ使用してもなくなり、無償です。しかも電気を作るときに、窒素酸化物や二酸化炭素などの有害物質を出しません。また、災害などで電気の供給が止まった場合には、一定の電気を自給することも可能です。



◎たはらエコチャレンジ宣言登録者数個人421人・事業所18か所(7月末現在)

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

40

◆太陽光発電施設設置補助金

太陽光発電導入量の飛躍的な拡大のために、国においても一般住宅への太陽光発電システム設置を支援しています。条件が合えば、田原市の補助制度と併せて補助を受けることができます。

■田原市の補助制度

●補助額8万円/kW(ただし施設設置費の1/3以内)、上限4kW
※申請は工事着手の2週間程度前

■国の補助制度

●補助額17万円/kW、上限10kW
●条件1設置価格70万円(税抜き)/kW
●以下のもの
※国の補助制度については、太陽光発電普及拡大センターにお問い合わせください。

◎太陽光発電普及拡大センター

☎(043)239局6200

※受付時間/午前9時~午後5時30分

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180

✉ekoene@city.tahara.aichi.jp



省資源とリサイクルは1と10

皆さんは、Reduce Reuse Recycleについてご存じですか？
今回は、改めて「RRR」について考えてみましょう。

Reduce ごみを減らす

ごみを出す日に、ごみの量が多いと感じませんか？なぜ、こんなにごみが出るのか？どうすれば減らせるのか考えてみましょう。

*ゴミを減らすポイント

- 必要の無いものは、買わない、もらわない。
- 買物のとき、エコバックを持参する。
- 使い捨て商品の使用を控える。

Reuse 繰り返し使う

まだ使えるものなのに、捨ててはいませんか？ごみだと思っても、気持ち次第で生かすことができるのです。

*繰り返し使うポイント

- 詰め替え商品を使う。
- リサイクルショップやフリーマーケットを活用する。
- 故障したものは、修理して使う。

Recycle 再資源化する

ペットボトルが衣料品に、牛乳パックがトイレットペーパーになど、資源ごみは別の製品に生まれ変わります。分別と再資源利用にご協力をお願いします。

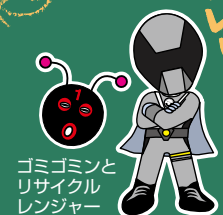
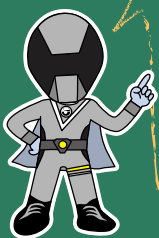
*再資源化のポイント

- 資源になるごみは、分別して回収に出す。
- 家庭用生ごみ処理機で堆肥を作る。
- エコマーク商品を優先して購入する。



3つのRについてできることから始めてみましょう。

清掃管理課
☎23局65508
FAX23局0180



ゴミゴミとリサイクルレンジャー